

白鷺が舞うが如し 鷺草が咲く加西市網引湿原 2023.9.2. by Mutsu Nakanishi

夏の初めには一円玉大の貴重な蜻蛉「八丁トンボ」が舞い、薄ピンクの朱鷺草が咲く
加西市の南東端の小さな湿原。夏の終わりには清楚に純白の鷺草が舞う舞姿「鷺草」が咲き誇る
時期が遅くてダメもとでもと加古川西岸を原チャリで駆けました。
清楚に鷺草が舞う舞姿の「鷺草」に出会えました。



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17photo.pdf>

【参考】梅雨入り目前 原チャリで廻る東播磨 加古川沿い風来坊 walk 2022.5.24. より

© 絶滅危惧種八丁蜻蛉の兵庫県唯一の自生地 加西市網引湿原の記録と紹介

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0406EharimaBakusyuweb.pdf>



網引湿原 第一湿原入口 2023.9.2.



網引湿原のゲート 2023.9.2.



鶯草 網引湿原 第一湿原で 2023.9.2.
時期が遅くて見られないかもしれないと思いましたが、
湿原の野草の中に白い鶯草が点々と、嬉しい出会いに



鶯草 網引湿原 第一湿原で 2023.9.2.



鶯草 網引湿原 第一湿原で 2023.9.2.



池に沿って山道を南へ 第一湿原に続く南の第二湿原へ 2023.9.2.



網引湿原 第一湿原の南 広い第二湿原 2023.9.2.



網引湿原 第二湿原で 2023.9.2.
草ぼうぼうの湿地ですが、目を凝らすとあちこちで、野草が花をつけています。
蜻蛉や蝶も飛び交っていました。今日は週末、数組が晩夏の湿原歩き
ゆったりとした時間が流れる湿原で自然を感じ、暮夏や晩夏の草花を楽しむ
また、まようもまだ飛んでいると聞いた小ざなアブトンを発見



第二湿原の湿地でも、数多くの蜻蛉に出会えました。
晩夏の網引湿原 第二湿原で 2023.9.2.



鶯草 網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.



鶯草 湿原を舞う野草の中で点々と咲いていました
晩夏の網引湿原 第2湿原で、2023.9.2.



鶯草 湿原を舞う野草の中で点々と咲いていました
晩夏の網引湿原 第2湿原で、2023.9.2.



キセルアザミの花の蜜を吸う蝶
2023.9.2. 網引湿原で



キセルアザミの花の蜜を吸う蝶
2023.9.2. 網引湿原で



湿原管理の人に「まだ八丁トンボも少し飛んでいる」と教えてもらいましたが、赤色の成熟したオスは見当たらず、写真のようなトンボを何匹か見つけました。でも、昨年夏みた八丁トンボの雄より少し大きく感じ、よく似た種の赤とんぼもいますので、正しくはわかりませんでした。

晩夏の網引湿原 第2湿原で 2023.9.2



晩夏 網引湿原で見かけた野草の花 & 蜻蛉・蝶 2023.9.2.



晩夏 網引湿原を舞う鶯草の舞姿 2023.9.2.



晩夏 網引湿原を舞う鳶草の舞姿 2023.9.2.



夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鳶草(ウモソウ)」
花言葉は「無垢」「清纯」「繊細」

初めて出逢った時には、「こんな美しい花があるのか・・・」と今年も加西市網引湿原に咲く鳶草に出会い。
加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に夏のいっとき野草に混じって咲く野生の鳶草時期がすこし遅かったのですが、9月2日原チャリ走らせ、出会うことができました。
夏から初秋へ 私には欠かせぬ夏の終わりの風物詩になりました
2023.9.2. Mutsu Nakanishi



網引湿原 第一湿原の南、広い第二湿原 2023.9.2.

湿原へ 網引湿原(第二湿原)で 2023.9.2.
鳥居の森と田舎の緑の間に咲く美しい花姿の鳶草
高野の野原の間に咲く美しい花姿の鳶草。美しい花姿の



網引湿原入口から南網引の集落側を眺める 2023.9.2.
県道79号高砂・加古川・加西線の南網引集落入口から南へ集落を抜けたところに湿原入口がある



夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく

嬉しい鳶草との出会いができて、ルンルン。南網引集落から県道79号を南へ山間を抜けると、四季折々原チャリ走らず東西に走る山陽自動車道沿いの県道118号福知峠・小野/志方線の十字路時間もまだ たっぷりある。小野町駅さすみの駅蕎麦の昼食。少し引き返して志方の田園を駆けて、朝来大道 加古川上荘橋から稲美の田園景色を神出の里から白川峠へ 久し振りに風をきりつつ、西神戸・加古川西岸を駆けて楽しい一日になりました。
2023.9.2. Mutsu Nakanishi



初秋の空を鳶が舞う 2023.9.2.
網引湿原の南西の山間 加古川市志方広尾の里で



例年秋にはコスモス畑になる休耕田 本年は志方の町お興し「カゴコットン・加古川コットン」綿の栽培に取り組んでいました ちょうど綿の花が咲き、綿の実が弾けて綿が見えている実もありました。
白い綿花は、今年初見。例年秋にはコスモス畑になる休耕田、今年は志方の町お興し「カゴコットン・加古川コットン」綿の栽培に取り組んでいました。ちょうど綿の花が咲き、綿の実が弾けて綿が見えている実もありました。
例年秋にはコスモス畑になる休耕田、今年は志方の町お興し「カゴコットン・加古川コットン」綿の栽培に取り組んでいました。ちょうど綿の花が咲き、綿の実が弾けて綿が見えている実もありました。
例年秋にはコスモス畑になる休耕田、今年は志方の町お興し「カゴコットン・加古川コットン」綿の栽培に取り組んでいました。ちょうど綿の花が咲き、綿の実が弾けて綿が見えている実もありました。

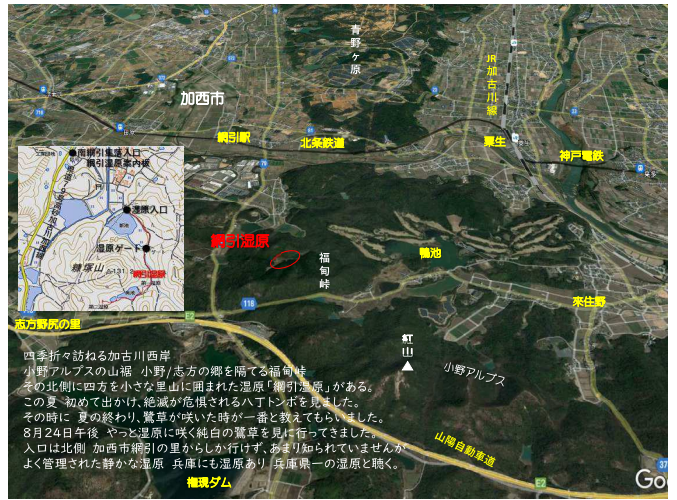
かつての特産品「綿」の栽培に取り組む志方の町お興し 2023.9.2. 網引湿原の南西の山あい加古川市志方 広尾の里で



夏から秋の空へ 雲がゆっくり流れて美しい 加古川西岸 稲美 加古の大池で 2023.9.2.



夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく
みのりの秋へ 西神戸神出の里で 2023.9.2.



四季折々訪ねる加古川西岸
小野アルプスの山裾 小野/志方の郷を隔てる福匂峠
その北側に四方を小さな里山に囲まれた湿原「網引湿原」がある。
この夏 初めて出かけ、絶滅が危惧されるハドコボを見つけた。
その時に 夏の終わり、鶯草が咲いた時が一番と数えてもらいました。
8月24日午後 やっと湿原に咲く純白の鶯草を見に行きました。
入口は北側 加西市網引の里からしか行けず、あまり知られていませんが
よく管理された静かな湿原 兵庫にも湿原あり 兵庫県一の湿原と聴く。
権漢ダム



夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鶯草」(サセソウ)
花言葉は「無垢」「清純」「繊細」

初めて出逢った時には「こんな美しい花があるのか・・・」と
今年も加西市網引湿原に咲く鶯草に出会いました。
加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に夏のいつとき野原に混じって咲く野生の鶯草
時期がすこし遅かったのですが、9月2日原チャリ走らせ、出会うことができました。
夏から初秋へ 私には欠かせぬ「夏の終わりの風物詩」のひとつになりました
20239.2. Mutsu Nakanishi



純白の鶯草が咲く加西市網引湿原 2023.9.2.

時期が遅れたのでググるとして加古川西岸を原チャリで駆けました。
清楚に裏が舞う うれしい鶯草との出会いに。

加西市網引湿原の鶯草 2023.9.2.

夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく
小野市来住 加古川西岸で 2023.9.2.

BGMは井上陽水「少年時代」を入れました By Mutsu Nakanishi



夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく

嬉しい鶯草との出会いができて、ルンルン。南網引集落から県道79号を南へ山間を抜けると、
四季折々原チャリ走らず東西に走る山陽自動車道沿いの県道118号福匂峠・小野/志方線の十字路
時間もまだ たっぷりある。小野町駅きすみの駅蕎麦の昼食。少し引き返して志方の田園を駆けて、
朝来た道 加古川上荘橋から稲美の田園景色を神出の里から白川峠へ
久し振りに風をきりつつ、西神戸・加古川西岸を駆けてる楽しい一日になりました。

2023.9.2. Mutsu Nakanishi



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/2023walk/23walk17photo.pdf>

【参考】梅雨入り目前 原チャリで廻る東播磨 加古川沿い風来坊walk 2022.5.24. より

◎ 絶滅危惧種ハドコボの兵庫県唯一の自生地 加西市網引湿原の記録と紹介

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0406EharimaBakusyuweb.pdf>